Techno Medica

2013年3月期
第2四半期決算説明会

2012年11月9日

代表取締役会長兼社長
實吉　繁幸

目次

	ページ
2013年3月期第2四半期決算 ……	3−14
当社の経営戦略 ……	16−22

Techno Medica

2013年3月期
第2四半期決算

2013年3月期第2四半期決算−1

Techno Medica

経営環境（中期的なトレンド）

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大 ⇒ 新市場 ⇒ この市場へ積極的に新製品（ROBO・検体検査装置・ヘルスケア）を投入
- ROBOの国内市場開拓率：大病院 69％、中病院 13％
- 輸出：新市場の開拓と既存市場の拡充（特に成長期入り市場）

上期の経営環境

- ROBOの更新需要捕捉・・・新製品（ROBO-8000RFID）が貢献
- 円高基調の定着、現地通貨安、ユーロ危機・・・案件小型化

2013年3月期第2四半期決算−2

Techno Medica

主な取組み

➢ROBO

大病院　⇒更新需要の捕捉
中病院　⇒新規開拓の加速
健診センター ⇒販路拡大

⇒ 粗利率を維持しつつ 新たな市場を開拓

➢検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院へも販路拡大

➢輸出

円高,現地通貨安,ユーロ危機等あり、キメ細かく案件捕捉

➢新製品

- 検体情報統括管理システムを搭載したROBO 8000RFID
- 静脈可視化装置：ROBOと併売、麻酔科・小児科へ販売
- 酸化ストレスマーカー：小児科,NICU,健診,クリニック、研究室等
- 全自動尿分析・分取装置（UA・ROBO 1000AD）

2013年3月期第2四半期決算−3

Techno Medica

決算サマリー

	2011年 4-9月期		2012年 4-9月期		
	金額（百万円）	百分比（％）	金額（百万円）	百分比（％）	前年同期比（％）
売 上 高	3,404	100.0	3,678	100.0	+ 8.0
（期初見通し）	3,356	100.0	3,675	100.0	
営 業 利 益	645	18.9	789	21.4	+ 22.3
（期初見通し）	518	15.4	651	17.7	
経 常 利 益	647	19.0	790	21.5	+ 22.1
（期初見通し）	519	15.5	652	17.7	
純 利 益	401	11.8	506	13.7	+ 26.1
（期初見通し）	308	9.2	391	10.6	
１株当り純利益（円）	13,765	----	17,358	----	+ 26.1
１株当り純資産（円）	287,637	----	319,226	----	+ 11.0

採血管準備装置で粗利率改善。販管費の開発費・支払手数料の期ずれ

2013年3月期第2四半期決算−4

Techno Medica

品目別売上高（年度別・半期別）

（単位：百万円）

	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2011年 4-9月期	2012年 4-9月期	2012年 前年同期比（％）
採血管準備装置	2,991	3,357	3,675	1,373	1,473	+ 7.3
構成比（％）	42.4	44.4	46.1	40.3	40.1	----
検体検査装置	770	660	657	276	349	+ 26.3
構成比（％）	10.9	8.7	8.2	8.1	9.5	----
消 耗 品 等	3,091	3,282	3,450	1,675	1,762	+ 5.2
構成比（％）	43.8	43.4	43.2	49.2	47.9	----
そ の 他	201	258	197	79	92	+ 17.3
構成比（％）	2.9	3.4	2.5	2.4	2.5	----
合 計	7,055	7,559	7,980	3,404	3,678	+ 8.0

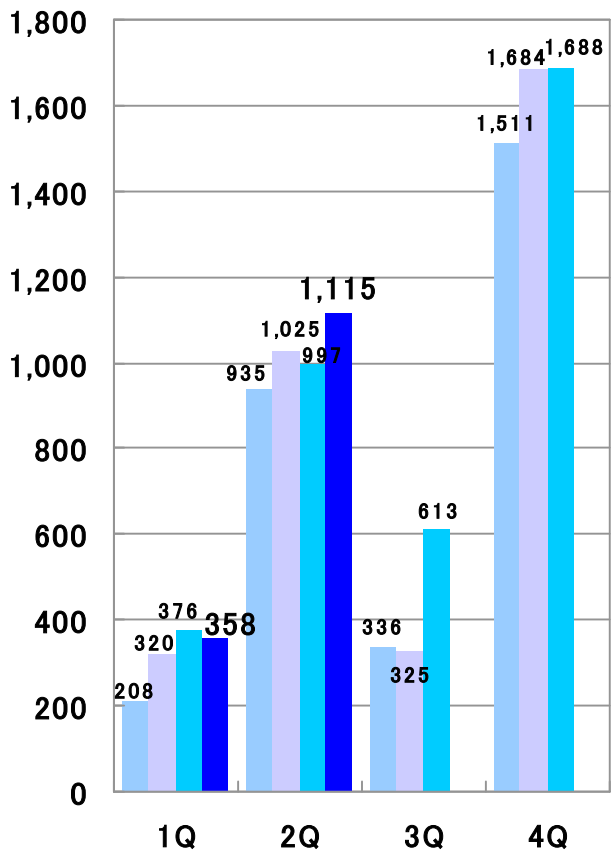
簡易電解質測定器の売上増あり、検体検査装置で前期比売上拡大

2013年3月期第2四半期決算−5

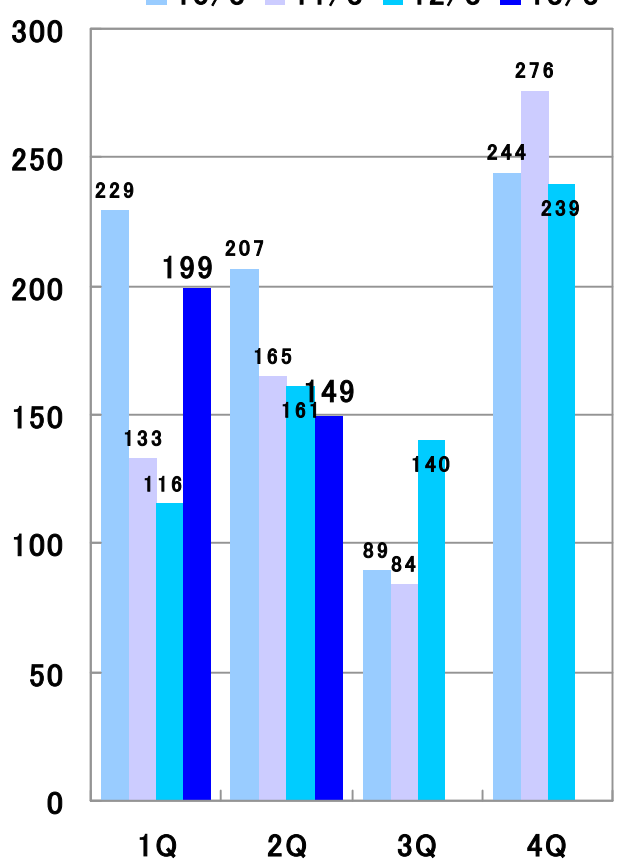
Techno Medica

品目別売上高（四半期別）

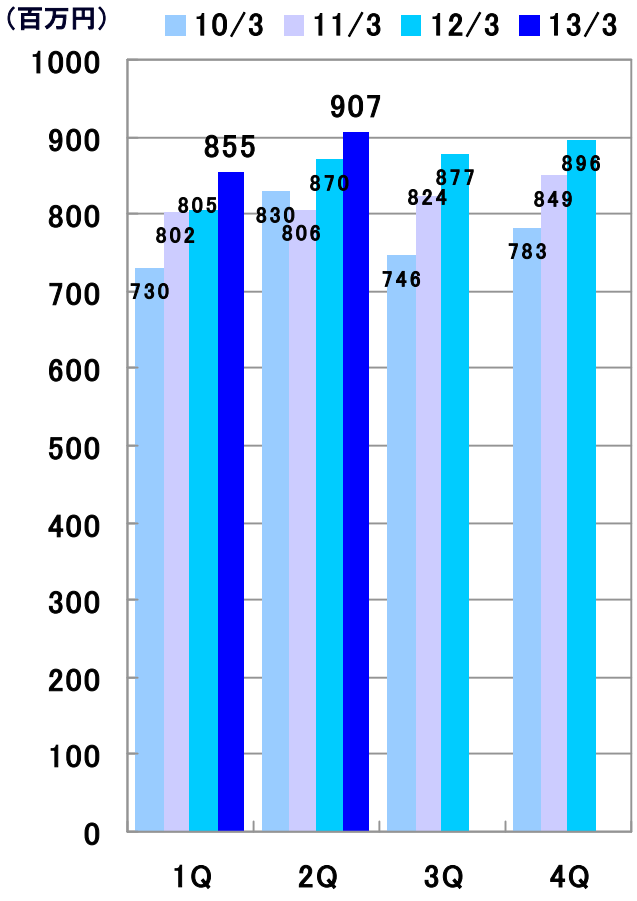
採血管準備装置



検体検査装置



消耗品等



Techno Medica

採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2010/4-9月	2011/4-9月	2012/4-9月
納入施設数	107	107	116
国　内	71	74	96
内、新規	22	20	30
内、更新	49	54	66
輸　出	36	33	20

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
納入施設数	216	245	272
国　内	180	174	204
内、新規	70	66	67
内、更新	110	108	137
輸　出	36	71	68

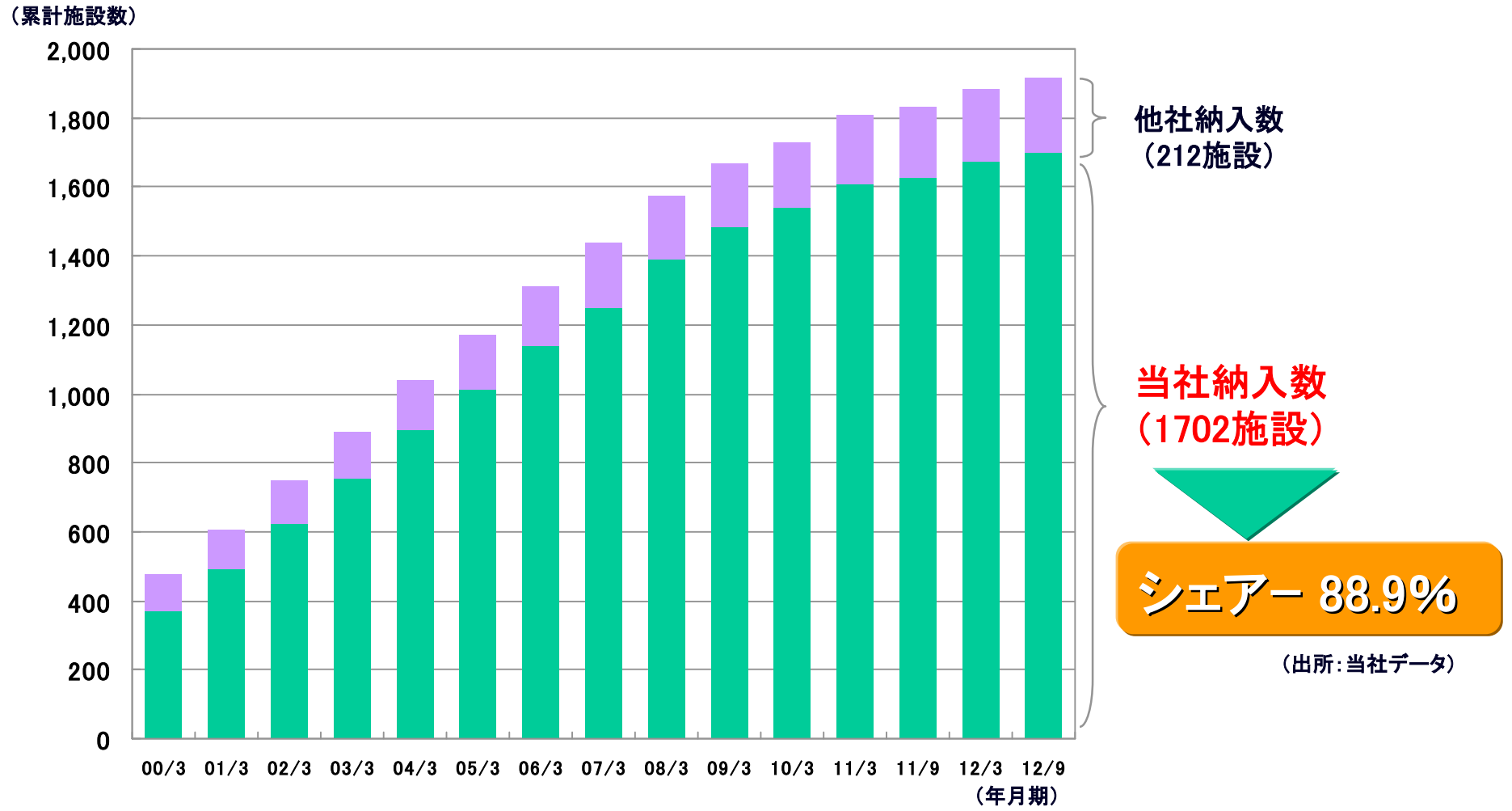
・国内の納入推移（含む更新）

	10/9	11/9	12/9
大病院	76%	74%	74%
中病院	23%	23%	24%
その他	1%	3%	2%

・平均納入単価（国内＋輸出）
　'12/9：12.7百万（前期：12.8）
・国内：更新・新規、ほぼ計画通り
　粗利率 2%弱改善（前期比）
・輸出：計画比、低調。全地域で
　円高・現地通貨安で成約数減少

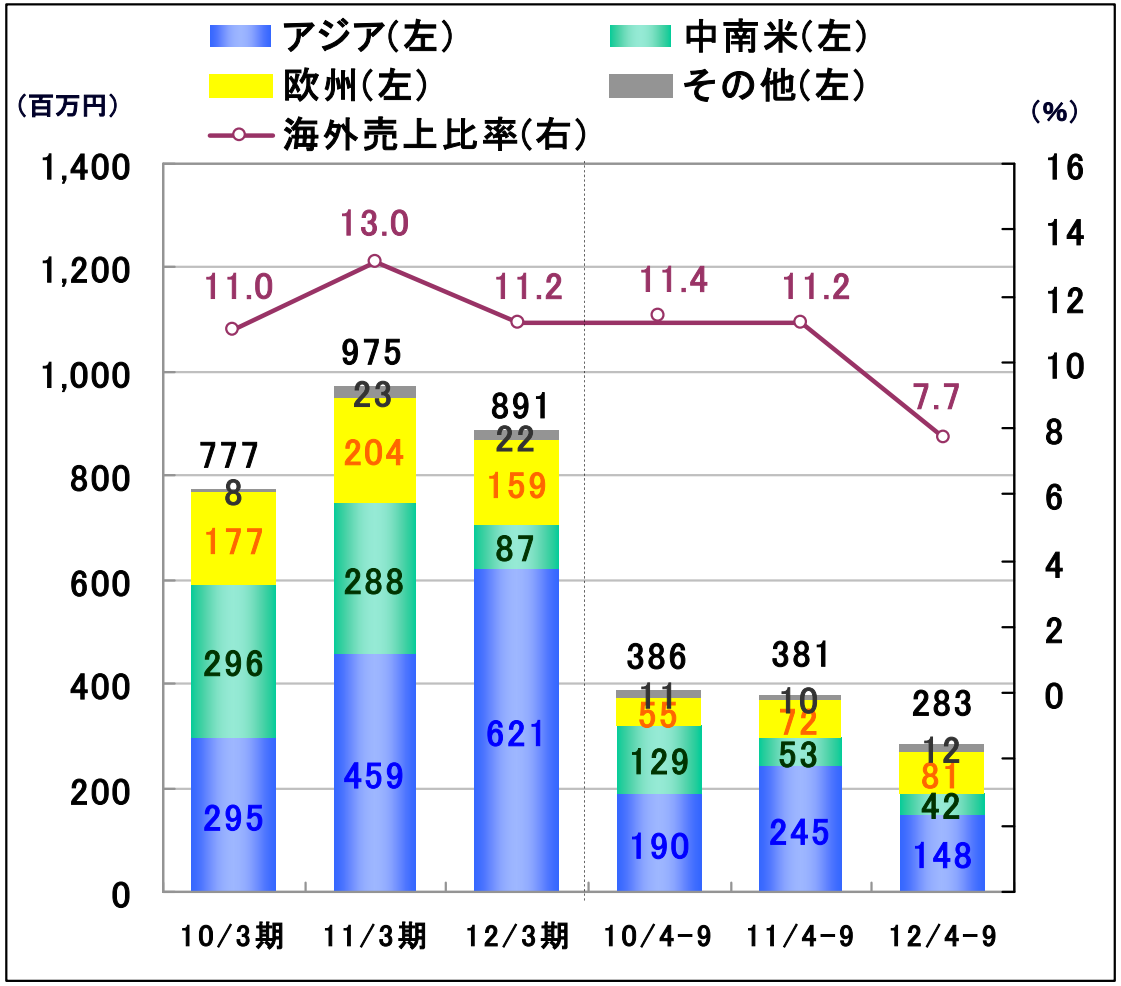
Techno Medica

採血管準備装置－納入施設の推移

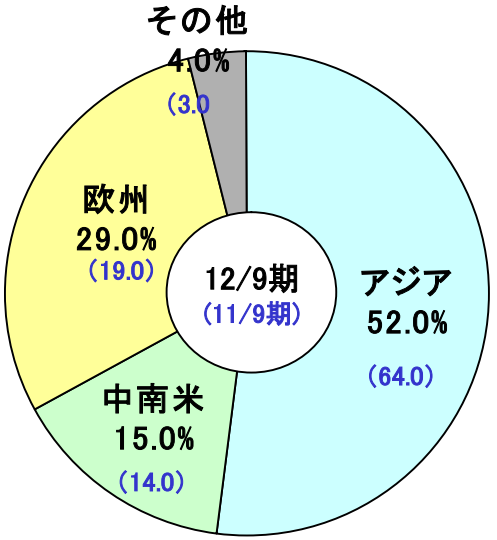


Techno Medica

海外売上高



地域別の売上構成比



( )内は'11/9期の数値

2012/4-9月期:
消耗品を除き、全地域で前期比"装置売上"減少。欧州向けROBOは前期比増加。

2013年3月期第2四半期決算−9

Techno Medica

要約損益計算書

（単位：百万円、％）

	2011年4-9月期		2012年4-9月期			2012年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比
売上高	3,404	100.0	3,678	100.0	+ 8.0	7,980	100.0
売上原価	1,675	49.2	1,768	48.1	+ 5.6	3,912	49.0
売上総利益	1,728	50.8	1,909	51.9	+ 10.5	4,068	51.0
販売管理費	1,083	31.8	1,119	30.4	+ 3.3	2,239	28.1
（内 研究開発費）	259	7.6	240	6.5	△ 7.3	513	6.4
営業利益	645	18.9	789	21.4	+ 22.3	1,828	22.9
営業外損益	2	0.1	1	0.0	0.0	2	0.0
経常利益	647	19.0	790	21.5	+ 22.1	1,831	22.9
特別損益	0	0.0	0	0.0	−	0	0.0
法人税、調整額等	245	7.2	284	7.7	+ 15.9	756	9.5
当期純利益	401	11.8	506	13.7	+ 26.2	1,074	13.5

要約貸借対照表【資産の部】

	2012年3月末		2012年9月末		
	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）	増減額（百万円）
流動資産	10,415	86.8	9,577	85.9	△ 838
現預金	4,662		4,637		△ 25
売上債権	4,226		3,528		△ 698
棚卸資産	1,459		1,349		△ 110
その他流動資産	66		63		△ 3
固定資産	1,588	13.2	1,567	14.1	△ 21
有形固定	1,265		1,285		+ 20
無形固定	6		5		△ 1
投資等	316		276		△ 40
資産合計	12,004	100.0	11,145	100.0	△ 859

要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2012年3月末		2012年9月末		
	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）	増減額（百万円）
流動負債	2,582	21.5	1,481	13.3	△ 1,101
買入債務	1,603		822		△ 781
短期有利子負債	100		0		△ 100
その他流動負債	878		659		△ 219
固定負債	350	2.9	343	3.1	△ 7
長期借入金	0		0		+ 0
その他固定負債	350		343		△ 7
負債合計	2,933	24.4	1,824	16.4	△ 1,109
純資産合計	9,071	75.6	9,321	83.6	+ 250
負債・純資産合計	12,004	100.0	11,145	100.0	△ 859

要約キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

	2011/4-9月	2012/4-9月	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	449	321	△ 128
投資活動によるキャッシュ・フロー	8	△ 50	△ 58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 221	△ 356	△ 135
現金・現金同等物の増加額	237	△ 85	△ 322
現金・現金同等物の期首残高	2,618	3,186	+ 568
現金・現金同等物の期末残高	2,855	3,101	+ 246
研究開発費	259	240	△ 19
設備投資実施額	1	0	△ 1
減価償却実施額	19	18	△ 1

Techno Medica

当社の経営戦略

当社の経営戦略－1

Techno Medica

2013年3月期業績見通し

	2012年3月期		2013年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（％）	金額（百万円）	百分比（％）	前期比（％）
売上高	7,980	100.0	10,000	100.0	＋ 25.3
営業利益	1,828	22.9	2,000	20.0	＋ 9.4
経常利益	1,831	22.9	2,000	20.0	＋ 9.2
当期純利益	1,078	13.5	1,200	12.0	＋ 11.3
研究開発費	513	6.4	500	5.0	△ 2.5
設備投資額	1	0.0	90	0.9	―
減価償却費	38	0.5	39	0.4	＋ 3.1

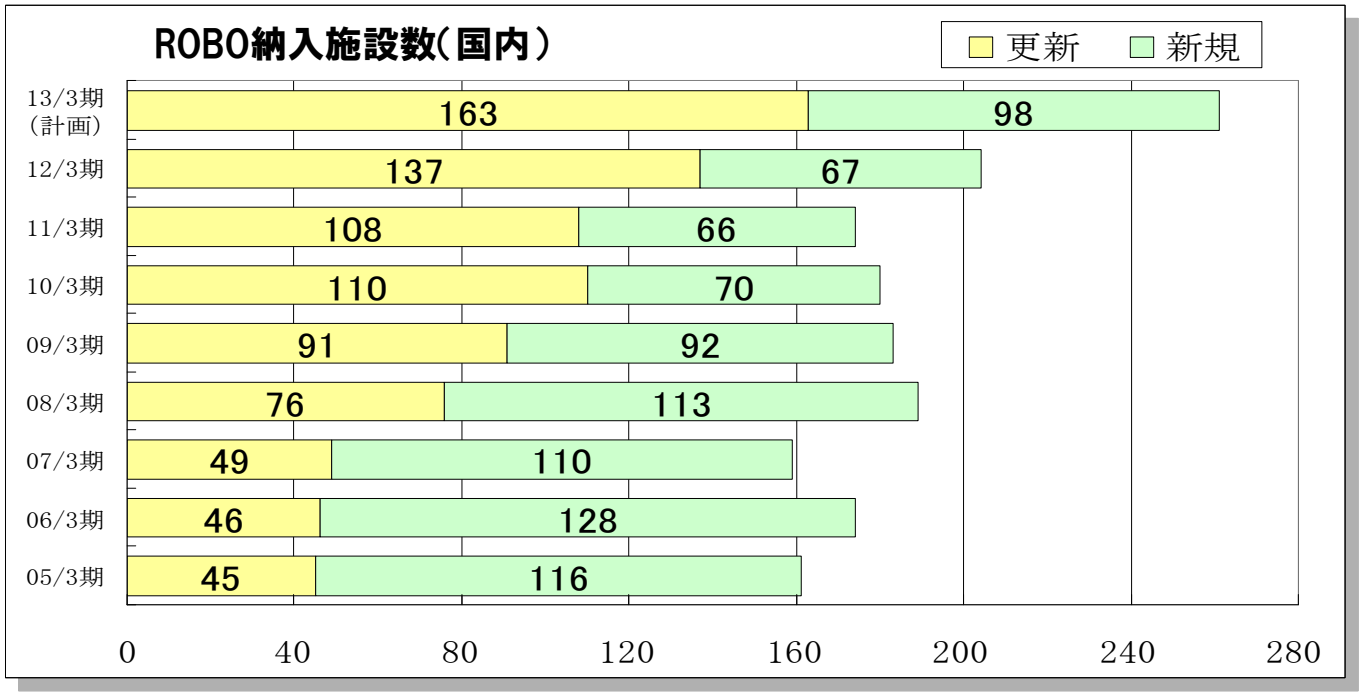
当社の経営戦略−2

Techno Medica

下期の課題①

➢ROBO

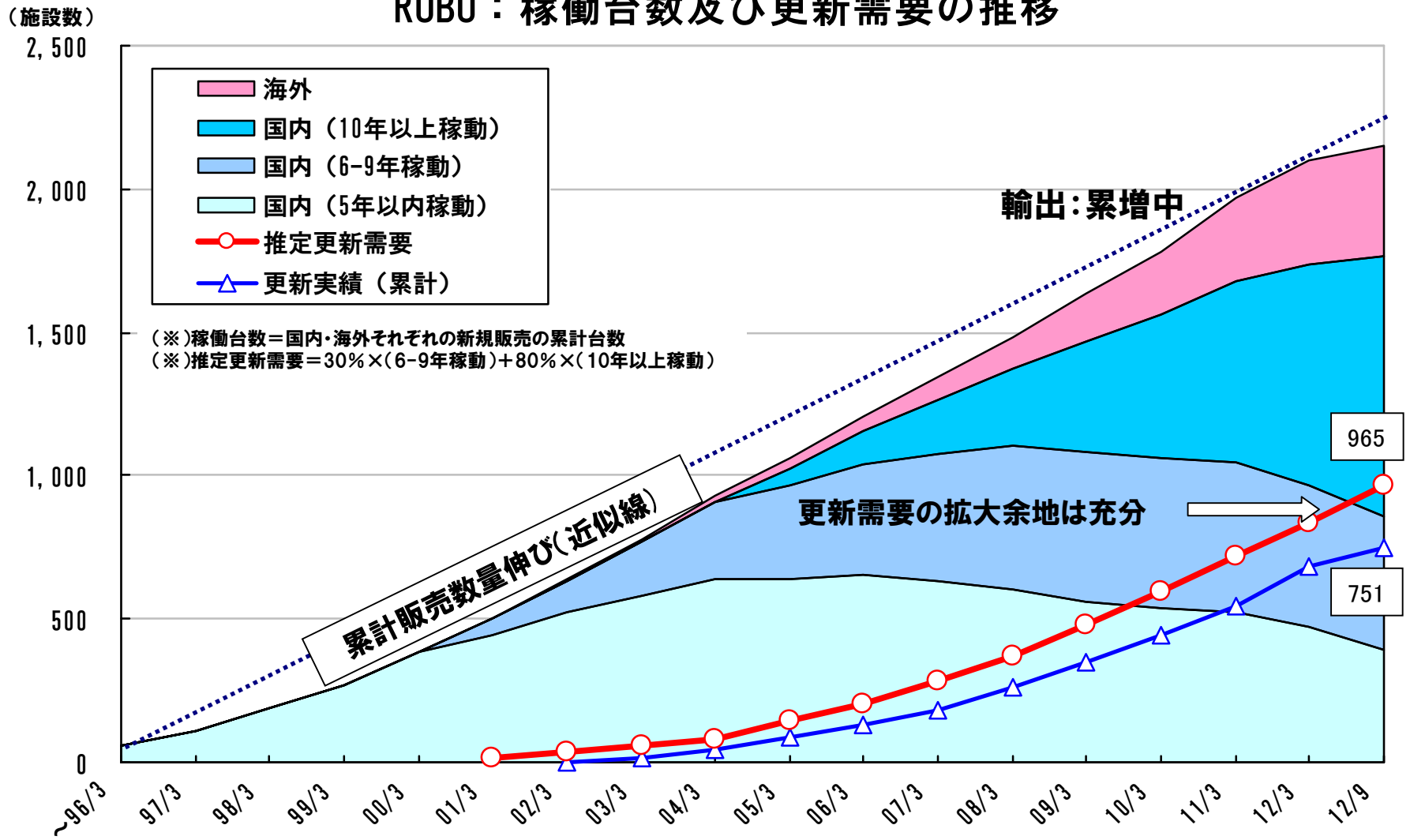
- 引続き更新需要(大病院向け)の着実な捕捉
  高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市
- 輸出拡大(新製品・新市場)



当社の経営戦略−3

Techno Medica

ROBO：稼働台数及び更新需要の推移



当社の経営戦略−4

Techno Medica

下期の課題②

➢新市場を作る新製品販売強化

- BC・ROBO-8000 RFID
- UA・ROBO-1000AD
- 新型静脈可視化装置「StatVein」
  小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- 酸化ストレスマーカー
  新規販路開拓（大学の研究室等）
- ヘルスケア製品（10月：新製品投入）
  アミノサイン®・・・・必須アミノ酸リジン測定
  現代型低栄養の発見



BC・ROBO
8000 RFID

全自動尿分析・分取装置
「UA・ROBO 1000 AD」



非接触型静脈可視化装置
「StatVein」





当社の経営戦略-5

Techno Medica

下期の課題②

➢検体検査装置

- ◆ 後継新製品 血液ガス分析装置「G-1800シリーズ」の販売強化
- ◆ 簡易電解質測定装置の販売



血液ガス分析装置
「G-1800シリーズ」

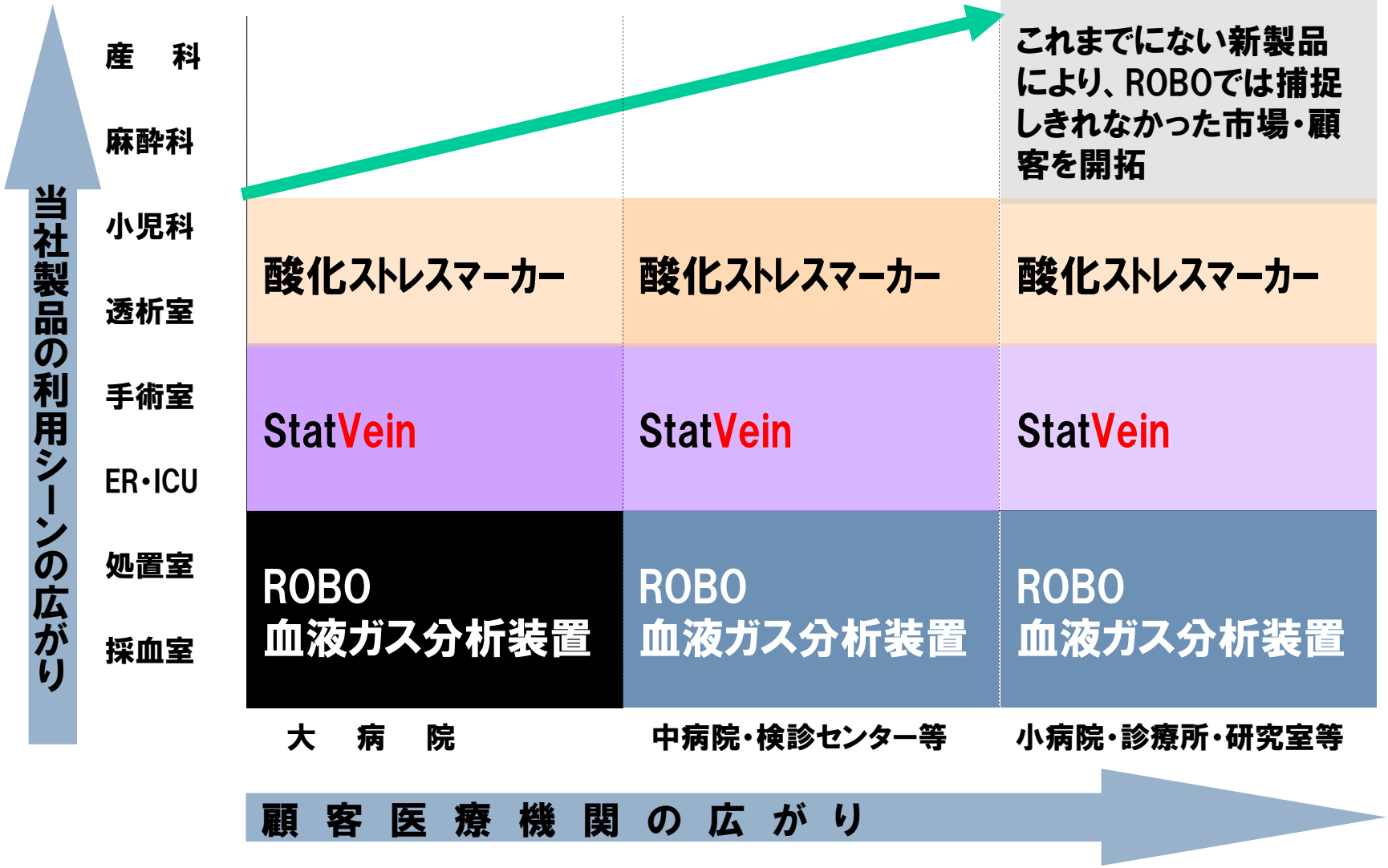
➢輸出

- ◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化
  - ・新興国＋先進国で新市場の開拓
  - ・海外代理店営業会議の開催
  - ・ユーロ危機等あり資金回収の確実性確保

当社の経営戦略−6

Techno Medica

新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



当社の経営戦略−7

Techno Medica

中期事業計画（2011/3期～2013/3期）

最重要テーマ

- スケールアップ
  - 売上高伸び率目標　＋15.0％
- 高収益率
  - 売上高経常利益率　20％

課題と施策

① 市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
② ヘルスケア事業の飛躍的拡大
③ 今後急増する国内ROBO更新需要の確実な捕捉
④ 輸出売上の拡大

＜注意事項＞

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。